

事業投資



■ 投資の4つの教訓

当社は、過去の失敗事例の反省から得られた教訓を「投資の4つの教訓」としてまとめ、投資失敗事例研修や全社の経営会議等で何度も繰り返し共有し、現場における投資案件の検討段階から留意するよう徹底しています。「投資の4つの教訓」は、以下の通りです。

投資の4つの教訓(以下の防止を徹底)

① 高値掴み	• 将来の減損リスクを最小化するため、投資額を抑制
② 取込利益狙い	• 足元の利益貢献のみを目的とした知見のない分野・地域への投資は行わない
③ パートナーへの依存・過信	• パートナーに頼らざるを得ない案件や特定客先に依存している案件には取組まない
④ ハンズオン不足	• 当社が経営権やイニシアチブを握れない案件には取組まない

投資失敗事例研修は、過去の投資失敗と同じ轍を踏まないために、失敗事例の本質的な理解を目的として実施する研修です。統合RM部は、投資時の意思決定プロセスやDMC^{*1}・HMC^{*2}等での議論の内容等を関係者にヒアリングした上で研修のコンテンツを作り込んでいます。2022年度は、ファンドからの買取り案件や投資銀行からの紹介案件に関する留意点に加え、海外事業投資における失敗事例等、5つの事例を研修で取り上げました。従来、受講対象は、中堅社員のみでしたが、2022年度からすべての社員に対象範囲を拡大し、非常に多くの社員が受講しました。今後も投資失敗事例研修を通じて、過去からの教訓を投資判断やモニタリングに活かすことで、不測の減損損失の発生を回避する等の「防ぐ」を強化・徹底し、投資の成功率を高めていきます。

*1 Division Company Management Committee

*2 Headquarters Management Committee